

なかつか 亮



10月5日 品川区長・区議補選

29号線など道路問題

大争点に

区長・区議補欠選挙において、共産党は区長選挙に原田やすお氏を推薦、区議補欠は、のだて稔史氏を擁立。「安倍政権の暴走ストップ」「防災の役に立たない道路計画やめ、税金は認可保育園や特養など福祉・暮らしにこそ」など訴えました。開票の結果、残念ながら議席には届きませんでしたが、今後とも、くらし・福祉が一番の品川区政をめざし頑張ります。結果は左の通りです。

品川区長選挙			
	候補者名	得票数	得票率
当	濱野健(自、公、民、社)	51378	74.67%
	原田やすお(共産)	17427	25.33%

品川区議補欠選挙(定数2)				
	候補者名	政党	得票数	得票率
1 当	横山ゆかり	自民	25634	37.50%
2 当	松永よしひろ	民主	15073	22.05%
3 次点	のだて稔史	共産	13190	19.29%
4~7 略	他4名	—	—	—



6日夜の報告集会にて、中央：のだて稔史さん、右：原田やすおさん

区長選挙は濱野氏(自、公、民、社民)と原田やすお氏(共産党)の一騎打ち。マスコミ各紙は「道路建設が争点」と報じました。道路推進の濱野氏は29号線や28号線(池上通り拡幅)などについて「都に十分な補償を交渉する」と初日に述べるぐらいで、その後、道路整備を語ることは皆無でした。いっぽう原田氏は「この道路計画は、防災にならない」(裏へ)

週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載
フェイスブック ほぼ毎日更新中! 気軽に「友達リクエスト」の送信を

と告発し、その根拠に「阪神淡路大震災では住宅の倒壊が死因の8割」「震災時、道路は車で大渋滞。車両火災のリスクがある」「道路が完成しても住宅8割が焼失と、都の資料でも示されている」と述べ、「住民を追い出し街を壊す道路計画は中止を」と訴えました。選挙期間中、濱野氏からの反論は無く、防災の公約も内容は防災公園やヘリポートづくりが中心。公開討論会でも29号線など道路問題は全く触れられず、区長選が終了しました。

「計画を一時止め合意形成を」東京新聞

投票日の翌日、東京新聞は「(濱野氏は)当選したが、今ある家や店を失う人のことを

考えれば、計画を一時止めて合意形成に時間をかけることもできる」「投票率の低さを見れば、区民の理解を得られたとは言い難い」と報道。マスコミ各社も道路問題を大きく取り上げました。

道路問題に注目が寄せられる中、計画を進めている区長が、区民に説明できないとは、防災の役に立たない無謀な計画であることを、自ら認めるものではないでしょうか。

やはり選挙結果をもつて、区民の承認を得たとはとても言えません。

むしろこれからの取り組みが重要。道路計画の中止を求める声はさらに強まっています。ご一緒に頑張りましょう。なかつか亮

国家戦略特区の「先取り」にチャレンジ はまの健区長 就任あいさつ

濱野区長は7日、区役所に当庁し、職員を前にあいさつしました。濱野氏は5日の選挙直後は、テレビカメラを前に「高齢者福祉充実、待機児童解消、ヘリポート機能付き防災公園の整備という課題に明日からでも着手したい」と3期目の決意を語っていましたが、7日の初登庁挨拶では福祉、子育て、防災には触れず「国家戦略特区の指定など、この変化を、どのように先取りするかが、3期目の課題」と述べました。これは、どういう事なのでしょう？

濱野氏は「前回の2期目は景気の落ち込みなどで、緊急経済対策を実施するなど、区民のマイナスを少なくすることが課題だった。今回の3期目は、こういう仕事もやりながらも、オリンピック、リニア新幹線の品川駅発着、国家戦略特区指定など、この変化を、どう先取りするのか。これへのチャレンジが3期目の課題です」と語りました。

国家戦略特区とは、多国籍企業を誘致するために、地元自治体が超高層ビルと巨大道路などを整備するもの。ここに、庶民の生活に目を向ける姿勢は全くありません。

品川区議会は10月23日から第3回定例会です。共産党は、悪政に立ち向かい、認可保育園や特養ホームの増設など、くらし応援の政治をつくるために頑張ります。



次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

10月31日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**